

第15回

南越谷地区総合防災訓練

主催 南越谷地区コミュニティ推進協議会
南越谷自治会連合会

3月14日(日)午前10時

実地訓練

15年前、阪神淡路大震災発生之年に始まった地区総合防災訓練は、26自治会838人、コミ協関係者及び訓練協力者を合わせ約千人が炊き出し・応急救護・初期消火訓練に真剣に取り組みました。

応急救護では、2人1組になって三角巾による手当と4人1組で簡易担架組み立て・搬送訓練、AEDの取扱い説明がありました。消火器訓練、バケツリレーには多数の参加がありました。他に震度体験、煙中体験、はしご

訓練の大切さ

車体験やライフライン展示品の見学、防災倉庫の確認などを行いました。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言われています。防災訓練は毎年同じような訓練ですが、反復することで身体に覚え込ませ、緊急の際に役立つものです。越谷市災害対策本部長である高橋越谷市長からは、防災備蓄倉庫もまだまだ不足している。地域の皆さんの協力なしでは災害時の混乱を収めることはできない。日頃の訓練を生かして地域を守ってください」と挨拶がありました。

備蓄

直近では南米チリ大地震で街が崩壊し、被災状況を見るにつけても、訓練の大切さと災害時に自らの身の安全を守るよう行動することの大切さを痛感させられます。

ボランティア

災害時には一番必要なのは飲料水です。現在、南越谷地区周辺(第一公園、大間野・宮本小学校)には、それぞれ100トンの水が耐震性貯水槽に備蓄されています。また、第一公園の防災倉庫と地区センターの防災倉庫には毛布や乾パンなどが万全とは言えないが保管されています。

災害発生時には市民のボランティア活動が大変重要になります。越谷市社会福祉協議会では、その総合調整を行なう「災害ボランティアセンター」の説明コーナーを設けました。

家庭・家族

訓練後、炊き出し訓練で作られた野菜入り「すいとん」千人分とアルファ米900食が参加者に支給されました。

最後に、大野實越谷市消防長より災害時の対応として①家族の安全確認②火元の確認③電源ブレーカーを落とすなどの諸注意がありました。越谷市では火災の件数は減少しているが、多くの命が失われている。火災を起こさないことが大切であることも強調されました。

参加されました。

皆さんお疲れ様でした。 R・N



越谷市長挨拶



応急救護訓練



救急搬送訓練



消火器訓練



バケツリレー



炊き出し訓練



すいとん配布

第10回まちづくりシンポジウム

事例発表「南越谷地区の環境への取組み」

2月13日(土) 越谷市中央市民会館において、越谷市7地区コミ協の各代表による、事例発表が行われました。南越谷地区コミ協からは29名の参加がありました。

各地区共通のテーマは「環境」で、それぞれの地域特性を生かした発表がありました。具体例として、町や川の清掃(バイクや自転車等の投げ捨て)、違反広告物の撤去、広い公園などの除草、花植え、水やり。これらはみな大変な作業で、多くの人達の協力がなくては成り立たない活動です。一人でも多くの住民に呼びかけ、そこから各世代間の輪を広げることも目的の一つになっているようです。汚すのは一瞬、でもきれいにするのは、ほんとうに大変なことです。私達一人ひとりが、ゴミとして捨てる前にちょっと考えて、分別リサイクルに協力することが大切だと思います。

その活動の一環となつているものに、南越谷地区で活動しているポトルキヤップ回収事業があります。

これを機会に各地区との交流によって、お互いの環境活動を知り、これからのまちづくりをより良いものにしてほしいのです。

M・A



「55歳からのパソコン講習会」開催

今年で第7回となる「55歳からのパソコン講習会」が、コミ協福祉部会担当、NPO法人越谷市生涯学習民間ネットワーク協会の講師により3月2日(火)から3日間実施されました。基礎コース15名、応用コース13名で延べ28名が受講しました。(4名が両コース受講)

午前は基礎コースで、1日目は電源の入れ方やマウスの持ち方など一つ一つ、一人一人に丁寧に教えていただきました。皆さん、熱心に画面にとらめっこしていましたが、3日間でどれだけパソコンと仲良くなれたでしょうか。

午後は応用コースで、3日目となるとさすが皆さん気合いが入って、中には復習してきたという人もいて、開始時刻5分前には全員集合してスタートしてしまっ程でした。

応用コースのテーマは、ポスター制作で、図形の挿入や色付け、文字の拡大やフォント変換に取り組んで、とても楽しそうでした。

最後に講師から「パソコンは慣れます。どんどん触って覚えてください。市役所南側駐車場前の宅建会館に無料相談室も開設しているので安心してチャレンジして下さい」と、頼もしいお誘いの言葉がありました。

T・O



「コミュニティリーダー養成講座」

「緑のカーテンで地球温暖化防止」

平成21年12月19日越谷中央市民会館で越谷市コミュニティ推進協議会主催、NPO法人緑のカーテン応援団の三ツ口理事による講演がありました。南越谷地区コミ協からは、10名参加しました。また市内の造園業者(7業者)も参加していました。

講演内容は、地球温暖化防止活動としてCO₂排出量を半減するという目標を達成する為には「家庭部門」に目を向けると、その道筋が見えてくるでしょう。それが「緑のカーテンが地球を冷やす」ことです。

都市のヒートアイランド対策、これに伴うエアコンなどのエネルギー消費の低減、地球に優しい行動と環境をベースに活動できる源で、緑のカーテンが地球を冷やすキーワードとなります。

緑のカーテンによる温熱環境の改善には、私たちがすぐに取り掛かれるアサガオ、ゴーヤー、ヘチマなどがあり、しかも家庭や学校で簡単にできます。外気温度は20程度しか下がりませんが、日射熱エネルギーは約80%カットする効果があります。現在一番設置されているゴーヤーの「緑のカーテン」の作り方を説明されました。

講義を受けて「緑のカーテン」の取組みを通じ、色々な人とのコミュニケーションの輪が広がることも、日常生活における身近な温暖化対策につながると感じました。

T・N



ペットボトルキャップの回収報告

あなたの小さな行動が世界中の子どもたちの命を救います

平成19年12月から開始したペットボトルキャップの回収は、皆様のご協力で現在迄、223人分のワクチンに相当する実績となっております。

これからも継続して実施しますので宜しくお願いします。 S・H



ペットボトルのキャップがワクチンになるまで

キャップを集める (南越谷地区センター)

キャップ回収



NPOエコキャップ推進協会

リサイクル業者へ売却

エコキャップ推進協議会が収益を寄付

NPO法人「世界の子どもにワクチンを委員会 (JCV)」

ワクチン

途上国へ

CO₂発生も抑制

水彩画パレット、プランターなどにリサイクル



「ごみ分別収集」報告会開催

熱心な、意見交換

2月4日(木)南越谷地区センター多目的ホールで、越谷市環境資源課より平成20年度の「ごみ分別収集」について報告がありました。

南越谷地区各自治会の廃棄物減量等推進委員が出席、分別収集状況報告を聞いた後、市役所の人を交えて熱心な、意見交換がありました。

ごみ排出量は、平成18年度より15分別を導入して現在まで確実に減っています。家庭ごみは、スタート時平成27年度1人1日当り700gの目標に対し、現状では既に662gとなっております。

一方燃えるごみに「雑紙」の混入している量が多く、これは「資源ごみ」にすることが可能です。これを減少させて行けば、ごみ焼却が少なくなり、環境対策にも貢献していきます。(燃えるごみの3分の1は雑紙系統で内80%は資源ごみに流用できる。残り20%は食品などの汚れで資源ごみに回せない) ごみ集積所は皆さんからの苦情・報告をまとめると、「とても汚い」が年々少なくなっ

いますが、分別を更に徹底するよう、今年度の「収集カレンダー」に挿絵を採用したこと、皆さんの苦情・意見を加味した保存版「家庭ごみの分け方・出し方」を作成したとのことです。

意見交換では、各自治会とも「雑紙の収集方法」、「分別の徹底」に議論が伯仲していました。今後、更に分別を定着させ、排出量の削減を図るため、今回の報告会、意見交換会の場を設けたとのことでした。 T・N



雑紙

ティッシュの箱(ビニール部分を取り除く)、封筒(ビニール部分を取り除く)、紙袋、メモ用紙、シュレッダーした紙、包装紙、ラップ・トイレットペーパーなどのしん、お菓子などの紙製容器、ポスター、カレンダーなどです。

雑紙は、紙袋などに入れてひもではばる。

資源物

ペットボトル
古着類
白色トレイ
古紙類
缶
びん
せん定枝
金属

募集しています!! 「南越谷地区コミ協・会員」

地域コミュニティづくりに参加いただける仲間を募集しています。

【応募資格】南越谷地区在住の20歳以上の方

【任期】平成22年4月1日～平成24年3月31日まで(2年間)

【応募方法】地区センター窓口にて備えてある「一般公募申込書」に記入して提出する。

* 選考結果につきましては、後日、ご本人に通知します。

【応募期限】平成22年4月28日(水)午後5時まで

【問合せ】南越谷地区センター・公民館 電話: 990-1200

成人式

初めて平成生まれが
大人の仲間入り

1月10日(日)午前11時より市立富士中学校体育館において、多くの来賓のご出席のもと、平成21年度の南越谷地区成人式が開かれました。越谷市の新成人3,127名に対し、南越谷地区は300名(男子145名、女子155名)。当日の出席者は男女合わせて217名でした。

式典では、新成人実行委員の齋藤友里香さんによる司会で、飯島孝子実行委員長の挨拶、武藤繁雄副市長、野口佳司市議会議長から祝辞があり、「社会の一員として、責任ある行動をとって、皆さんの力で社会を築きあげてください」「社会不安の中で、一人一人が自覚を持って新しい社会へ進んでください」「若々しい気持ちを忘れず、人生にぶつかっていく勇氣を持ってください」など、期待を込めた言葉が贈られました。

これに対し新成人を代表して田久保敦子さんから「平成生まれ最初の成人として、より良い社会を築く為、努力をします」と誓いの言葉がありました。

来賓紹介では、小・中学校教師の時に、席を立ち一段と大きな拍手と歓声が上がりました。

式典後は、新成人実行委員による手作りの抽選会で盛り上がり、茶話会では久しぶりに会う恩師を囲み、仲間との輪ができて、なごやかなひと時でした。



T・N

彩の国・21世紀郷土かるた

～各大会に健闘～

第25回彩の国・21世紀郷土かるた南越谷地区大会が12月20日(日)今年一番寒い中、南越谷小学校体育館で行われました。

団体32チーム、個人34名の小学生が参加し、団体戦はチーム4人で、カルタを読上げると、会場はたちまち熱気に満ち、寒さを吹っ飛ばしてまいりました。白熱した戦いが繰り広げられ、団体4チーム、個人4名が2月11日(木・祝)越谷中央大会に進出し、赤山3丁目Bチームが優勝しました。3月14日(日)の県大会に出場し健闘しました。結果は表のとおりです。

T・N

大会名	団体戦	個人戦
第25回南越谷地区大会 H21・12・20(日)	高学年優勝/杉の子A 低学年優勝/杉の子A	高学年優勝/左裕子(郵政) 低学年優勝/川中子大真(杉の子)
第25回越谷中央大会 H22・2・11(木・祝)	優勝/赤山3B 5~6位/杉の子A	5~6位/左裕子
第21回埼葛南支部大会 H22・2・21(日)	赤山3B、杉の子A	左裕子
第28回県大会 H22・3・14(日)	赤山3B	



みんなの力で 子どもと地域を犯罪から守る

昨年の12月に続き、南越谷地区の防犯について越谷警察署生活安全課にお伺いしました。

今年の振り込め詐欺被害は3件で、殆どが還付金詐欺。犯罪発生件数(軽法犯認知件数)は、昨年と一昨年を比較すると約10%減少。しかし自転車盗難は依然として多くを占めている。犯罪防止の各種チラシを新聞販売店やFAXネットワークなどに配布依頼をしている。警察では毎月5日、15日、25日に重点パトロール実施と地域の皆さんの各種防犯パトロールへの協力で、犯罪抑止の効果が現れている。更に犯罪抑止のために重要なこととして、以下の2点を挙げられました。

①個人で被害に遭わないような心構え②地域の皆さんの協力による防犯パトロールで犯罪を追い出す。



S・H

被害防止例

- ★自転車には必ず「カギ」を掛ける(二重に)
- ★所持品を前カゴに置いた状態にしない
- ★ハンドバッグなどの所持品は車道側に持たない

編集後記

広報部員としてコミ協の事業にふれて、良い経験をさせていただきました。行動することで街を良くしていこうとする意気込みが伝わってきます。つい歩きたくなる街にしていきたいと思えます。T・A

